

# 特報！

昨年、7月～9月にかけて侯野町にある「横浜市消防訓練センター」に取材に伺いました。指導員、訓練生の方々はまさに災害から私達の命を守るために真剣に取り組んでおられました。消防活動はもとより、交通事故による人命救助等真夏の強烈な暑さの中明るく、はつらつとした一体感のある行動に感銘を受けました。



案内板ですよ！ハイツから歩いて15分くらいです。



ロビーに展示の竜吐水です。江戸時代～明治時代まで活躍！



消防車と救急車たちです。



整列！ 救急訓練



車両に挟まれた人の救助



救出されました。



整列！ 消防訓練



車両の下敷きの人の救助



救助されました



潜水訓練塔

内部は水深6mの巨大な水槽とのことです。



高所作業訓練塔

今回は、見られませんでした、ロープで空中での建物移動、興奮しました。



消火訓練 建物外部



消火訓練 建物内部

## \*取材当時における「横浜市消防訓練センター・教育課 教育担当係長 日比谷様」よりのコメントです。

横浜市消防訓練センターは、昭和51年に施工され約25万人の消防職員を教育してきました。今年も4月から9月までの6ヶ月間、夏の暑さにも負けず、新規採用消防職員の初任基礎教育が行われているところです。

横浜市消防訓練センターでは、初任教育期間中に救急隊員の資格を取得させていますが、救急隊の出動件数は増加し、救急体制はひっ迫しています。高齢化が進む中、救急隊の出動件数は年々増加しており、去年は初めて25万件を超えました。出動件数の2割にあたる5万件は軽傷などで救急搬送が必要ない事案です。迅速な救急隊の現場到着や病院までの救急搬送を維持していくため、日頃の備え、困ったときの相談先、緊急時の119番通報といった場面に応じた対応を皆様に知っていただくことで、救急車の適正な利用に繋げ、限りある救急資源を有効に活用することになります。

横浜市消防局では、「あんしん救急」知って予防救急車 シニア世代向けリーフレットを作成し、皆さまが安心できるように啓発していく取り組みを行っています。\*子育て世代リーフレットもございます。

## \*「あんしん救急」知って予防！救急車 覚えておきたい3ステップ ①備える ②相談 ③通報

これは、横浜市ホームページ「横浜市 あんしん救急」でも検索できますよ

# 絶対にダメ！

## アライグマ 出没注意!!

回虫・狂犬病の危険もあります。むやみに近づかないで下さい。



県ドリームハイツ自治会

### 猫・カラス等への餌やりは絶対にダメです！

これにより、カラスのみならず、アライグマの出没まで報告されています。

カラスは猛禽類で攻撃的な性格であるのと同様に、アライグマも可愛い顔に似合わず、獰猛な面もあります。

けがや病気感染の危険性もあります。

見かけた場合は絶対に、近づいたりましてや、手を触れたりしないようにしてください。

見かけた時は、自治会事務所までご一報ください。

### 編集後記

「ひろばドリーム」本号では、去年よりぜひとも掲載したかった「横浜市消防訓練センター」の取材レポートがようやく掲載することができました。

本当に嬉しく思います。

誌面の都合により、質量ともに十分とは思いませんが、私達の命を守るということの大変さは、あの真夏の訓練からは取材者の私にも十分に伝わりました。

「消防訓練センター」への見学は皆さまも出来そうです。ご要望があれば、自治会事務局へご連絡ください。私から「消防訓練センター」に問合せいたします。

これからも、楽しい「ひろばドリーム」の目指しますので、よろしくお願いいたします。

広報部 板垣